

平成 23 年 3 月 24 日  
(社) 日本建築学会東北支部

## 第 31 回 東北建築賞の決定について

**【作品賞部門】**  
「作品賞」4 点

- ・ 連続し、よりそう、ハコ/ニワ
- ・ S 博士の家
- ・ 白鷹の家 / SNOW LIGHT HOUSE
- ・ 鶴岡市立 藤沢周平記念館

「特別賞」2 点

- ・ 仙台ファーストタワー
- ・ 八峰町役場庁舎

**【業績賞部門】**  
なし

**【研究奨励賞部門】**  
なし

## 作品賞部門 4 点

### 連続し、よりそう、ハコ/ニワ

【所在地】 宮城県仙台市泉区  
【設計監理】 (有)都市建築設計集団  
【施主】 田子内 徳雄  
【施工】 ㈱片倉工務店

### S博士の家

【所在地】 宮城県仙台市青葉区吉成  
【設計監理】 SOY source 建築設計事務所 櫻井一弥/太田秀俊/安田直民  
【施主】 櫻井一弥  
【施工】 ㈱巧友技建工業

### 白鷹の家/SNOW LIGHT HOUSE

【所在地】 山形県西置賜郡白鷹町  
【設計監理】 渋谷達郎+  
アーキテクチュアランドスケープ一級建築士事務所  
【施工】 丸ト建設株式会社

### 鶴岡市立藤沢周平記念館

【所在地】 山形県鶴岡市馬場町 4-6  
【設計監理】 設計・計画 高谷時彦事務所  
【施主】 鶴岡市  
【施工】 笠原建設・中澤工務店特定建設工事共同企業体

## 特別賞部門 2 点

### 仙台ファーストタワー

【所在地】 宮城県仙台市青葉区一番町 3 丁目 1 - 1  
【設計】 大成建設㈱一級建築士事務所  
【設計監修・監理】 ㈱日建設計  
【施主】 ヒューリック㈱、日本土地建物㈱、㈱みずほ銀行  
【施工】 大成・清水・松井・佐藤建設工事共同企業体

### 八峰町役場庁舎

【所在地】 秋田県山本郡八峰町峰浜目名瀉字目長田 118 番地  
【設計監理】 ㈱青島裕之建築設計室  
【施主】 八峰町  
【施工】 大森建設㈱・保坂電気工事㈱

# 第 31 回東北建築賞作品賞選考報告

選考委員長 竹内昌義

## 1、応募作品

- ・小規模建築物部門 11 点
- ・一般建築物部門 17 点
- 計 28 点

## 2、選考経過

(1) 事前打ち合わせ会議 2010 年 9 月 2 日 (木) 13:00 ～

於 日本建築学会東北支部会議室

選考委員長の選出、東北建築賞作品賞募集要項、選考委員会規則などを確認した上で、応募作品の数とその内訳を確認した。東北建築作品発表会の運営方法及び東北建築賞作品賞の選考基準などについて事前打ち合わせを行った。

(2) 東北建築作品発表会 2010 年 9 月 25 日 (土) 9:50 ～

於 せんだいメディアテーク 7 階スタジオシアター

第 21 回東北建築作品発表会において応募 28 作品の発表が行われた。「No.8 清川の家」の発表者に急用が生じ、発表時間を繰り上げていただきたいという申し出があり、選考委員会で検討の結果、今回の件については順番を繰り上げて発表をお願いすることとなった。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介され、発表会は全体として滞りなく進められ終了した。時間厳守にご協力いただいた発表者、諸氏に敬意を表したい。

(3) 第 1 次審査会 2010 年 9 月 25 日 (土) 15:15 ～

於 せんだいメディアテーク 2 階会議室)

東北建築作品発表会終了後、会場を移し、現地審査を行う必要のある作品を選定することを目的として、第 1 次審査を行った。1、企画力、2、技術力、3、地域への貢献・文化度、の選考基準を前提とし、2 次審査対象作品として、約半数の 8～10 作品を選定するため、発表された作品について部門に関わらず 1 人 7 点ずつ投票を行った。その結果から、まず 4 票以上獲得した 11 上位 11 点を通過作品とし、得票数が 0 票、1 票、2 票の作品を落選とした。その後、得票数が 3 票の作品 1 点について審議した結果、第 1 次審査通過とした。以上の結果、小規模部門 5 点、一般建築物部門 7 点の合計 12 点を第 1 次審査通過とした。

次に、現地審査は 1 作品につき 2 名以上の選考委員がこれに当たることを確認し、選定された 12 作品について現地審査の分担を決め、現地において確認すべき点を検討し、作品管理者との連絡を含めた現地審査の日程調整は事務局を通して行う事とした。

なお、1 次審査の落選者へは 200 字程度の講評を審査委員分担で作成し、審査委員会として送付することを確認した。

(4) 現地審査

現地審査については 10 月下旬から 2 次審査会 (2011 年 1 月 29 日) までの期間中で選考委員の中からの 6 チームで現地審査が行われた。

(5) 第 2 次審査 2011 年 1 月 29 日 (土) 16:00 ～

於：日本建築学会東北支部会議室)

まず、全作品について一点ずつ、現地審査担当者から写真スライド等により報告を受けた後、作品についての質疑やアピールポイント等についての討議を全審査員で行った。各作品について長時間に渡って慎重に審議を行った後、審査員各自が小規模部門 4 点以内、一般部門 4 点以内を選定し投票を行った。投票の結果において必ずしも明確に判断がつかない作品があったため、点数を踏まえて再度作品賞候補として相応しいかどうか慎重に審議を行い、最終的に小規模部門については作品賞 3 点、一般部門については作品賞 1 点を選定した。さらに、一般部門について作品賞には至らないが優れた内容を含む作品と思われた 2 点を特別賞に選定することとした。結果は別表の通りである。

### 3、選考結果

#### 作品賞部門4点

##### 連続し、よりそう、ハコ/ニワ

【所在地】宮城県仙台市泉区  
【設計監理】(有)都市建築設計集団  
【施主】田子内 徳雄  
【施工】(株)片倉工務店

##### S博士の家

【所在地】宮城県仙台市青葉区吉成  
【設計監理】SOY source 建築設計事務所 櫻井一弥/太田秀俊/安田直民  
【施主】櫻井一弥  
【施工】(株)巧友技建工業

##### 白鷹の家/SNOW LIGHT HOUSE

【所在地】山形県西置賜郡白鷹町  
【設計監理】渋谷達郎+  
アーキテクチュアランドスケープ一級建築士事務所  
【施工】丸ト建設株式会社

##### 鶴岡市立藤沢周平記念館

【所在地】山形県鶴岡市馬場町4-6  
【設計監理】設計・計画 高谷時彦事務所  
【施主】鶴岡市  
【施工】笠原建設・中澤工務店特定建設工事共同企業体

#### 特別賞部門2点

##### 仙台ファーストタワー

【所在地】宮城県仙台市青葉区一番町3丁目1-1  
【設計】大成建設(株)一級建築士事務所  
【設計監修・監理】(株)日建設計  
【施主】ヒューリック(株)、日本土地建物(株)、(株)みずほ銀行  
【施工】大成・清水・松井・佐藤建設工事共同企業体

##### 八峰町役場庁舎

【所在地】秋田県山本郡八峰町峰浜目名瀧字目長田118番地  
【設計監理】(株)青島裕之建築設計室  
【施主】八峰町  
【施工】大森建設(株)・保坂電気工事(株)

#### 4、講評 作品賞部門

##### 作品名：連続し、よりそう、ハコノニワ

外部に対し大きな開口をとりながら、内外の視線を意識して周到に計画・配慮された住宅である。エントランスホール・寝室・浴室には外部の視線から守られた小さなニワが準備され、外部空間との交感の場がそこかしこに設けられている。また、リビングダイニングから白く細長いニワを通して雑木林を切り取って見せ、周囲の家並みを視界に入れない設計には、設計者のこだわりを感じさせた。そこは理解できるが、もう少し周囲の雑木林の風景を取り込んでもよかったように思われる。しかし、白と黒の四角いハコの内側に、スキップしながら展開する空間が劇的な変化を示していて、平屋の小規模な住宅にもかかわらず、広がりとお行きを感じさせてくれる優れた作品である。東北の住宅地環境の伸びやかさに呼応した新しい計画モデルの提案と、若いクライアント家族の成長と変化に応え、厳しいコストと闘いながらデザインやディテールを迫及した点が評価される

##### 作品名：S博士の家

この住宅は、敷地のほぼ中央に2層（ロフトを除く）のボックスを配置し、そのボックスに直角にもう一つの細長いボックスを組み合わせ、7つのレベルの空間を創り出している。それらの空間に住宅としての機能を当てはめ、様々な幅と高さの階段で結ぶことにより、視覚的には一つの連続した空間ではあるが機能的にはある程度独立を保持する魅力的な空間を構成している。階段や廊下を住空間に取り込むことにより、より広く感じられる巧みな空間構成となっている。同様に、引き込みサッシと床仕上げの統一により外部空間ともつながっている。内外の入り組んだ空間は、迷路を彷徨うに似た楽しみが有り、近所の子供たちに人気があることも頷ける。構造的には、2×10部材を格子状に組み合わせた壁構造とし広い無柱空間を創出しているが、これは入り組んではいるがつながりのある空間構成に寄与している。又、格子状の外周部が全て棚として使用されているのも楽しい。この住宅は設計者の自邸で独善的なアメニティ空間とも言えるが、これからの住宅購買層にとっては共感の持たれるアメニティ空間であり一般化されるものと考えられる。とにかく楽しい住宅である。

##### 作品名：白鷹の家／SNOW LIGHT HOUSE

この住宅は光と風を積極的に取り込みつつ、東北の長い冬を快適に過ごす方法を提案する意欲作です。雪に閉ざされがちな雪国の住まいを、ここで考案された採光断熱壁によって、明るく、開放的なものにしています。寒冷地において採光を確保するために開口を大きくすることは冬期の熱的損失をもたらす危険もありますが、ここではポリカーボネイト複層板というローコストな材料を使いながら、熱損失を最小限にとどめるよう考えられています。暖房は欧州で普及する木質ペレットを燃料に使うストーブを導入し、設備面でも環境に配慮されています。また、大きく明け放つことが可能な開口と、ワンルームのような室内に設けられた採光吹き抜けは、コンパクトな住宅ながら外部からつながる伸びやかな空間を生み出し、夏には温度差換気を生み出すように計画されています。全体的に木と紙をつかった空間は居心地の良い洗練されたデザインになっており、今後こうした環境性能をデザイン面からも迫及する作品が東北にも多く現れることを期待したいと思います。

##### 作品名：鶴岡市立藤沢周平記念館

本作品は、時代小説家として著名な藤沢周平氏の作品資料と作品世界を後世に伝えるために建てられた記念館です。かつて鶴ヶ岡城が存在した鶴岡公園内という、場として大変意義深く、また様々な制約が課せられる敷地に対して、建物の形態、仕上げなどにおいてきめ細かく対応し、調和が図られています。

展示室・収蔵庫を「蔵」とし、それを覆う「鞘堂」に全体の機能を収める構成は、雪国の伝統的な形式を、現代の環境性、防火性から再考し、取り入れられたとのことですが、地域・風土を真摯に読み解いた成果と言えます。

内部に歩を進めるとそれぞれの廊下正面の開口から、大宝館や土塁といった歴史遺構が望めますが、距離が近すぎて必ずしも意図したシークエンスが実現できなかった点は残念に思います。

内装等には、地域の生産者と協力し、地場のスギ材を積極的に活用しており、特に収蔵庫の内装全面に無垢のスギを活用して調湿機能を図っている点は、自然素材の活用として特徴的と言えます。

建築として、斬新さ、独創性に欠けるようにも思われますが、場に調和を図り、藤沢氏及び親族の思いに誠実に応え、丁寧に造られた作品として評価に値すると思えます。

## 特別賞部門

### 作品名：仙台ファーストタワー

仙台ファーストタワーは、仙台の玄関口であるJR仙台駅から西に伸びる青葉通りと南北軸を形成する国道4号の交差する角地に建つオフィスビルです。このように立地に恵まれた建物ですが、オフィスビルの設計においては建築における新しい方向性を提案することにおいて困難が伴うものです。本作品もその制約からは逃れきれなかったかも知れません。審査委員会では、この点がこの優れた作品をどのように取り扱うかという点において論点となりました。しかしながら、本作品は細部に至るまで設計者の工夫と情熱が惜しみなく込められており建築物としては非常に高い完成度を誇っています。更に、オフィスビルの設計における窮屈さをはね除ける力強さもあります。また、公共空地の提供など都市への貢献、高層棟およびアトリウムへの長周期免震構造の採用による事業継続性・アトリウムの災害拠点としての機能確保、CASBEE-S ランクの実現などの高い技術力を纏まり良く集約してパッケージとして提供している点などが高く評価されました。以上より、特別賞に選ばれることとなりました。

### 作品名：八峰町役場庁舎

本作品は、以下の点などにより特別賞と評価されました。

まずは、主たる構造を在来の木造とし、地場材である杉を活用し、空間を構成していること。空間の構成も内蔵を模したセンターコアを中心に機能を分化し、それを吹き抜けてつなぐことで全体の一体感を演出し、限られた面積の中で必要な用途を過不足なく配置しているといった点などです。

環境問題への取り組みでも、ヒートポンプによる地中熱の活用をはじめ、ハイサイドライトなどによる自然採光・換気など積極的に検討しており、建築全体として環境に配慮していると評価されました。

ただ、空間の良さとしての評価がある反面、執務空間が吹き抜けにより一体化されていることによる音のこと。来訪者の待合の空間がやや不足気を感じる。また収納が廊下などに表出し不足しているような印象などが懸念され特別賞となりました。

近年、公共建築において規模の制限はあるものの木造建築が推奨されています。本作品が今後の公共建築の木造あり方の一つの回答として期待される建築であると十分評価されるものです。

### 第31回東北建築賞作品賞選考委員会

選考委員長	・竹内 昌義	東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科/みかんぐみ
委 員	・五十子 幸樹	東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻
	・最知 正芳	東北工業大学建築学科
	・権代 由範	宮城工業高等専門学校建築学科
	・三浦 秀一	東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科
	・原田 栄二	東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻
	・恒松 良純	秋田工業高等専門学校環境都市工学科
	・西野 敏信	東北工業大学デザイン学科
	・水戸部 裕行	(株)羽田設計事務所
	・京谷 国雄	日新設計(株)
	・板垣 直行	秋田県立大学建築環境システム学科

なお、表彰式は6月25日(土)「大学コンソーシアム秋田 カレッジプラザ(秋田市)」にて開催予定です。